

令和5年度 子どもゆめ基金助成活動
2340022 『除雪ボランティア体験活動』
実施要綱

- 1 主催 〒060-0909 札幌市東区北9条東7丁目1番1号 さっぽろ村ラジオ局内 011-299-5444
札幌丘珠ソーシャルネットワーク研究会 会長 駒嶺優子 090-9525-5263
事務局 小川幸彰 011-707-5656
- 2 活動日時 令和6年1月14日(日) 午前8:45～11:59 オリエンテーション AM 08:45
バススタート AM 09:00
令和6年2月25日(日) 午前8:45～11:59 オリエンテーション AM 08:45
バススタート AM 09:00
- 3 集合場所 札幌栄リトルシニア球団 屋内練習場前 〒007-0852 札幌市東区栄町 901-32
- 4 参加者 定員30名 公募期間 R05.12.15(金)～R05.12.27(水) 平日 AM 10:00～PM 04:00
- 5 参加料 無料 公募対象者：小6年～中学3年
- 6 活動地域 札苗連合町内会自治区 札幌市東区東苗穂12条 近隣
・天候、町内会行政除雪進捗状況、感染症などの状況により活動地域の変更有
- 7 活動目的 **【活動の趣旨】** 子どもたちは、地域の解決課題や奉仕活動については、机上では、十分学校でその知識を習得しています。しかし、身近で現実的な地域解決課題への取り組みに参加した体験は、多くありません。この活動は、子どもたちが、学校時間では、交流する機会の少ない地域住民とともに、現実的な地域解決課題に、直接かかわり、子どもたちに『地域と自己が協働する力』を試行する機会、『地域解決課題』や『地域から自己が必要とされていること』の気づきの機会を創造することをこの活動の目的とします。

A 【地域解決課題への気づき】

子どもたちが、地域の一員として、限界集落化傾向の地域やコロナ等で疲弊した地域の解決課題に気づき、地域除雪奉仕活動の一端を担う経験から、子どもたちの自立心や社会性を育み、自分が参加した奉仕活動に『おごり』ではなく『誇り』を持たせることを活動のねらいとします。

B 【地域から共感される除雪奉仕活動を試行体験】

子どもにとって面識ない多世代の住民・指導者と小グループに分け、各参加者に『地域住民と協働する力』を総合的に試行体験させます。活動終了後、子どもが住民1人では、解決できない地域解決課題の取り組みへの参加経験をもって、参加者自身『地域から必要とされていること』『責任を担う地域住民の一員であること』の気づきを促します。

C 【『地域住民と協働する力』の試行体験】

子どもを住民・指導者と小グループに分け、地域除雪奉仕活動をもって、子どもに『地域住民と協働する力』を総合的に試行体験させる。活動終了後、参加者自身が『地域から必要とされていること』『責任を担う地域住民の一員であること』の気づきを促し、子どもの『地域住民と協働する力』を総合的に試行体験させます。

8、その他

1. 指導担当の皆様は、上記の通り、活動目的は、高齢者世帯・限界集落地域を対象とした福祉活動ではなく、青少年のための体験学習活動である点に十分ご注意ください。
2. 参加者の公募ポスターにある注意事項をご理解のうえ、当該活動の指導者にご賛同賜りますようお願い申し上げます。
3. 活動日の様子について、SNS・HP等への無断掲載・投稿は、ご遠慮ください。